

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	非営利組織論		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)	
<p>この授業では、社会貢献を第一に考え、公益活動あるいはビジネス・経済活動を行う「民間非営利組織」を理論的かつ実践的に学ぶ。民間非営利組織（NPO）には、狭義のNPO（NPO法人、市民公益活動団体、ボランティア団体等）と広義のNPO（公益社団法人、公益財団法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、生活協同組合、農業協同組合、宗教法人等）がある。「社会貢献とビジネスを両立する働き方」を目指して、NPO法人などで就職や起業する人も増えている。こうした民間非営利組織について、全国各地の多数の具体的な事例も交えて理解するとともに、NPO法人を具体的に設立するための実践的ノウハウも学ぶ。必要に応じて、各回で雑学、時事問題、就活情報等も紹介する。授業形態は、原則各回を対面とするが、必要に応じて事前に連絡した上でオンラインで行う場合がある。</p>	

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	<p>実践的な学習に重点を置いて、授業テーマに関わる具体的な事例を多く取り上げて、知識・ノウハウを深める。特に、担当教員が実際に活動やビジネスに携わった事例、あるいは調査研究に関わった事例を主に取り上げることで、リアリティを持って理解できるようにする。事例学習は各回必要に応じて行う。担当教員は、シンクタンク企業や民間非営利組織10団体以上に所属して、様々な実践活動や国・自治体の政策形成に携わってきていることから、その具体的な実務経験を紹介することで、リアリティを持って実践イメージを持てるようにする。</p>

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方・課題・成績評価方法等。様々な分野で活躍する民間非営利組織の概要	□
第2回	非営利組織とは	社会・経済活動を担う3つの組織（NPO、企業、行政）。民間非営利組織（NPO）の社会貢献活動とビジネス経済活動。ボランティアとNPOの違い。「営利」と「非営利」の違い。NPOスタッフの無償と有償。NPO活動の社会的意義（企業や行政では担えないこと）	□
第3回	狭義と広義の非営利組織	狭義のNPOとは（NPO法人、市民公益活動団体、ボランティア団体）。広義のNPOとは（公益社団法人、公益財団法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、生活協同組合、農業協同組合、宗教法人等）。社会を支える担い手のあり方（需要と供給の関係）	□
第4回	公益の担い手としてのNPO(1)	狭義のNPO活動（市民公益活動）とは。市民公益活動での「市民」とは。ボランティア活動や市民公益活動の社会的認知の歴史的变化。市民公益活動団体にNPO法人格が付与される歴史的経緯。	□
第5回	公益の担い手としてのNPO(2)	NPO法人の活動分野と法人数。「新たな公益の担い手」と「新たな経済主体」としての狭義のNPO。全国自治体におけるNPO政策の高まりの歴史的経緯。行政からNPOへの委託事業	□
第6回	NPOの活動事例(1)	災害救援活動（阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震、コロナ禍等）など	□
第7回	前半授業の振り返りと掘り下げ	前半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等	□
第8回	経済主体としてのNPO(1)	新たなビジネス・産業を創出するNPO。事例：狭義のNPOが創出したITビジネス（インターネットビジネス）	□
第9回	経済主体としてのNPO(2)	NPOの「新たな経済主体」化の歴史的経緯（NPO活動と経済活動の両立への模索、NPOによるコミュニティビジネスの政策提言、NPOを新たな経済主体として国に提言、経済産業政策の対象となったNPO）	□
第10回	NPOの活動事例(2)	ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスなど（事例：NPO法人生野共働の家「ばん食店 ござり」）	□

第11回	新しい公共としてのNPO	NPO法人の現状と課題（事業規模、スタッフ数、給与、企業や行政との連携・協働等）。「新しい公共」としてのNPOの課題。「私」「共」「公」「公共」とは何か。公共の担い手に必要な活動姿勢。NPOの中間支援組織	<input type="checkbox"/>
第12回	NPO法人の概要と要件	NPO法人の特定非営利活動とは。法人化のメリットとデメリット。NPO法人になるための要件。NPO法人の「設立認証申請」の手続き等	<input type="checkbox"/>
第13回	NPO法人設立の演習(1)	NPO法人を設立するために行政機関に提出する書類（設立認証申請書、登記申請書）の具体的な作成ノウハウ等	<input type="checkbox"/>
第14回	NPO法人設立の演習(2)	NPO法人を設立するために行政機関に提出する書類の具体事例（愛知県等）	<input type="checkbox"/>
第15回	後半授業の振り返りと掘り下げ	後半の各回授業テーマに関する学びの掘り下げ、事例学習等	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に授業テーマに関する予習をしておき（1時間程度）、事後に授業での学びを整理して考察すること（3時間程度）。授業中にしっかりとメモ（ノート）を取り、想像力を働かせながら理解・イメージした上で、学んだことを整理して、自身の言葉・文章で適切に表現すること。学んだことを実社会での出来事と照らし合わせるとともに、そこから自らの疑問や興味に応じて様々な手段で学びを深めて、自らの考え方を育てるようにすること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で少しずつレポート課題（授業での学びや考察等）を行うことで無理なく復習等を行い、将来の仕事・生活や就職活動等で活かせるように学びの蓄積を行いやすくする。質問・意見等への回答等フィードバックは次回以降の他、電子メールや研究室等で柔軟に行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	営利と非営利の概念、NPOの特徴や企業・行政との違い、「公益の担い手」や「ビジネス・経済の担い手」としての役割、多様な実践的な活動の基礎を理解・説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中の各回授業レポートで評価。原則、各回授業に出席することで出席扱い。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	今瀬政司（2011）『地域主権時代の新しい公共 希望を拓くNPOと自治・協働改革』学芸出版社	
2	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を必要に応じて授業中に紹介する。	
3		
4		

5		
---	--	--